

世紀末 チューニング トレンド 大予言

「景気が悪い。速い新車も出ない。大体、チューニングだつてもう面白くないよ」なんて声も聞こえる時代だ。たぶん、残りの90年代は、いわゆる世紀末に突入する。だからといって意気消沈していったって何も始まらない。逆に、そんな時代だからこそ、オレ達だけの「オリジナル・カーライフ」を作れるハズなのだ。
キミも新たなチューニングで、不景気をぶっ飛ばせ!

新宿の母ならぬ
知る人ぞ知る
銀座のパパ、
アラビア風
タービン玉占いだあ!

なんとなく、暗いムード……。オオゲサに言えば、70年代のオイルショックみたいな雰囲気だ。とゆーのも、バブルがはちきり、翔ぶ鳥を落とす勢いだつたニッポン経済がガタガタになる予感なのだ。

も低調。金の成る木だつた不動産業界は最悪の状態だ。
「経済なんてオレ達には関係ないよ」なんていつてられない。仕事は減るし、給料のアップも希望がない。ない、ない尽くしの真つ暗闇だ。
オレ達に身近なクルマにしても、環境問題とエコノミー時代で、ホッとな新車が消え去る運命にある。クルマを楽しむムードがなくなりつつあるのだ。

ある。新車がなければ中古車に目がいくし、Qカーだってあり、クルマ選びはもっと拡大する。金をかけなくてもチューニングはできるし、時代にマッチしたクルマとの付き合い方はあるのだ。走りだつて同じ。景気が悪くなれば、道路から佐川なんかの運送関係車両が減って、逆にオレ達は走りやすくなるかもしれない。
つまり、新たなクルマの楽しみ方やチューニングのトレンドがそれなりに出てくるとゆーことだ。そこで、新車からチューニング、あらゆる情報に強いと巷で噂の大先生、銀座のパパことタイ・アブドゥラ・ギンバ氏の神秘のタービン玉占いの御登場。名チューナーも噂を聞きつけ大集合というわけで、'93年のトレンドをトーンと占ってもらおう。

